

日本史籍講読7－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-414
選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

明治～大正期にかけて、政党政治家として活躍し、「平民宰相」として知られる原敬。立憲政友会を率いて政党政治の進展に寄与した原は、1921(大正10)年11月4日に東京駅丸ノ内改札で暗殺されるまで、膨大な日記を書き残した。本授業では、原の記した日記(『原敬日記』)を題材として、参加者全員で輪読・報告する。一人の政党政治家の眼を通して、近代日本の政治や社会について理解を深めるとともに、近代史料の読解や調査の方法を学んでいく。

2. 授業の到達目標

- ①近現代日本の政治家が残した「日記」を活字で読み、その文意を説明できるようになること。
- ②「日記」に書かれた登場人物・事件・事項などを調査する能力を身につけること。
- ③他の史料などを読み解き、「日記」の記述を検証できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業での報告・質疑を重視する。
また最終回にテストを行い、総合的に評価を行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

原奎一郎・林茂 原敬日記 福村出版

参考文献

伊藤之雄 原敬一外交と政治の理想 上・下 講談社

季武嘉也 原敬一日本政党政治の原点 山川出版社

5. 準備学修の内容

テキストを読み込み、文意と内容を解読する。また参考文献などを使用して、担当範囲の人物・事象および、背景となる政治や社会の動きを説明できるようにする。

6. その他履修上の注意事項

授業での報告・質疑の内容を重視する。報告者はもちろん、その他の受講者も事前にテキストを読み、質疑応答に参加することが求められる。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・史料の概略と授業の進め方について
- 【第2回】 「原敬日記」を読む(1)
- 【第3回】 「原敬日記」を読む(2)
- 【第4回】 「原敬日記」を読む(3)
- 【第5回】 「原敬日記」を読む(4)
- 【第6回】 「原敬日記」を読む(5)
- 【第7回】 「原敬日記」を読む(6)
- 【第8回】 「原敬日記」を読む(7)
- 【第9回】 「原敬日記」を読む(8)
- 【第10回】 「原敬日記」を読む(9)
- 【第11回】 「原敬日記」を読む(10)
- 【第12回】 「原敬日記」を読む(11)
- 【第13回】 「原敬日記」を読む(12)
- 【第14回】 「原敬日記」を読む(13)
- 【第15回】 秋期のまとめ・最終試験